

こそあど言葉のはたらきと種類がわかる

月 日
名 前

1 こそあど言葉の使い分けのしかたとしてあてはまるものを、あとのア～エから選んで記号で書きましよう。

- (1) こ () (2) そ () (3) あ () (4) ど ()

ア 聞き手に近いものを指すときに使う。
 イ 話し手からも聞き手からも遠いものを指すときに使う。
 ウ 話し手に近いものを指すときに使う。
 エ はっきりわからないものを指すときに使う。

2 次のこそあど言葉の表の空いているところに、あてはまるこそあど言葉を書きましよう。

様子	方向	場所	物事	
	(こっち)		この	こ
こんな	(そっち)	そこ	それ	そ
そう	(あっち) あちら		あれ	あ
	(どっち)	どこ	どの	ど

